

会議記録

会 議 名	令和7年度（2025年度）第1回八王子市博物館協議会
開 催 日 時	令和7年（2025年）5月30日（金）午後6時00分～午後8時25分
開 催 場 所	コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市こども科学館） 2階・講座室
出 席 者	委 員 大畑静佳、大森映子、長田晶、鎌倉佐保、進藤哲央、馬場憲一、 深澤靖幸（敬称略・50音順、以下同）
	事 務 局 中野目泰明文化財課長兼郷土資料館長、飯塚由則こども科学館長、 鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、時友彰吾文化財課主査、 石田勇次こども科学館主査
欠 席 者	（委 員）菊池由紀子、國方則和、中島美恵 （事務局）なし
議 題	(1) 令和6年度（2024年度）八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況・施設評価について (2) その他
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
配付資料等	1. 会議次第 2. 【資料1】 令和6年度（2024年度）こども科学館事業実施状況 3. 【資料2】 令和6年度（2024年度）こども科学館施設評価 4. 【資料3】 令和6年度（2024年度）郷土資料館事業実施状況 5. 【資料4】 令和6年度（2024年度）郷土資料館施設評価 6. その他（刊行物、チラシ類）

<p>会議の内容 (要点記録)</p>	<p>【開会】</p> <p>(事務局職員による開会の宣言)</p> <p>事務局 まず、事務局に人事異動がありましたのでご報告します。4月1日付で叶郷土資料館館長が役職定年となり、後任として私、中野目が郷土資料館館長として着任いたしました。あわせて、高野課長補佐兼主査が他課へ転出し、後任として時友が主査に昇任しております。</p> <p> 加えて4月1日付で生涯学習スポーツ部長が交代いたしました。前任の平本に替わりまして、佐藤が着任しております。本日は着任後初めての会議となりますので、冒頭、部長の佐藤から皆様にご挨拶がございます。</p> <p> (佐藤生涯学習スポーツ部長挨拶、中座)</p> <p>事務局 会議の議長は、八王子市博物館協会条例第5条第1項の規定により会長と定められておりますので、以降の進行を鎌倉会長にお願いいたします。</p> <p>鎌倉会長 本日の会議には10名の委員のうち、7名が出席しておりますので、八王子市博物館協議会条例第5条第2項の規定により会議は成立しております。</p> <p>【議題】</p> <p>(1) 令和6年度(2024年度)八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況・施設評価について</p> <p>鎌倉会長 まず議題(1)について、事務局から説明願います。</p> <p> — 事務局職員による説明 —</p> <p>鎌倉会長 確認したい点や、ご質問はございますでしょうか。</p> <p>長田委員 3点ほど、提案というかお伝えしたい点があります。</p> <p> 1つ目は、こども科学館の説明で、放課後子ども教室のイベント周知が遅くなったことについて。各学校にコーディネーターが配属されていますので、年に3回ある研修会のときにチラシを配ると、各学校へ宣伝してもらえるのではと思いました。</p> <p> 2つ目は、科学館の情報について。八王子市 SNS の LINE は情報過多で見にくいので、基本となるホームページの方を見やすくするといいと思います。参考に、瑞穂町のホームページが見やすいです。</p>
-------------------------	---

	<p>3つ目は、部活動について。昔は熱心な先生がいらっしゃる学校は科学部などの部活動が盛んでした。科学館で、科学に興味のある子ども向けに、そういった場所としてやっていただければと思います。</p>
事務局	<p>1点目、コーディネーターさんの研修会への周知は、今年はまだ動き始めていますので、来年度に向けて検討させていただきます。</p>
長田委員	<p>スタッフの問題や、コーディネーターさんが忙しいということもありますが、各学校によって様々なニーズがありますので、案内だけでもだいぶ宣伝になるかと思います。</p>
事務局	<p>科学指導員は専門職3人で対応していて、あまり数多く来てしまうと対応しきれないところもあるので、対応可能な件数を頭に入れながらPR出来ればと思います。</p>
馬場委員	<p>最初の事務局の説明では、入館料無料イベントの入館者数が対前年度比で64.1%少なくなった要因が、放課後子ども教室が減ったためで、それはコーディネーターさんが多忙だったからという説明だったと思うのですが。</p>
事務局	<p>放課後子ども教室をコーディネートするコーディネーターさんの方々が多忙で、そこから各学校へのイベント周知が遅くなってしまった。結果として、申し込みが前年度の8校から1校に減ったという状況です。</p>
馬場委員	<p>コーディネーターというのは、どういう配置なのか。市や教育委員会が採用しているのですか。</p>
長田委員	<p>コーディネーターは、各学校に1名以上は配置されています。ただ、放課後子ども教室をやるかどうかは、各学校の希望によります。学校から推薦状を出して、市の方で1年契約で任命しています。</p>
馬場委員	<p>各学校において、何をコーディネートするのですか。</p>
長田委員	<p>学校によります。放課後子ども教室をやっている方もいらっしゃるし、学習支援、英検など、学校がコーディネーターに求めるものはそれぞれ違います。</p>
馬場委員	<p>科学館としては、申し込みが減ったことに対して、まだ具体的な策を持っているわけではないのですね。</p>
事務局	<p>今年度は早めに連絡をしていますが、連携をとり時期を考えながら、先ほど長田委員からご意見いただいた3回の機会などにPRできるように調整していきたいと思っています。</p>
馬場委員	<p>私も3年間この協議会をやってきて、科学館は出前講座や宇宙の学校など積極的にやって外とのかかわりを重視しているということがわかりました。より積極的に、科学館</p>

	<p>の中だけでなく外と結びつけていくことを科学館が主体的に考える必要があると思います。</p>
鎌倉会長	<p>ありがとうございます。それと先ほどの長田委員からのご意見で、ホームページのことで部活動について、何かありますか。</p>
事務局	<p>LINEはおっしゃるとおり1日何十件も情報が来て、こども科学館の情報も通り過ぎてしまいます。中にはそれを見てお問い合わせがくることもあるのですが、ホームページの方も見やすくしたいと思います。瑞穂町のホームページも参考にしてみます。</p> <p>部活動については、去年、部活動改革の1つとして、科学部・理科部の校外活動の場に活用できないかと他の部署の職員3名が見に来ました。こども科学館の科学指導員という専門職の方も交え、実現できるのではないかとということまで話をしました。その後まだ進んでいないのですが、部活動改革は教育委員会の大きな課題の1つとなっていますし、特に平日はかなりお客さんが少ないという状況もありますので、積極的な活用も必要と考えています。</p>
進藤委員	<p>何点かよろしいでしょうか。先ほどの放課後子ども教室の件ですが、各学校のコーディネーターさんが直接申し込むのではなくて、間に取りまとめの方が入っていて、その方が忙しかったということでしょうか。</p>
事務局	<p>各学校にいるコーディネーターさんを取りまとめているコーディネーター会の方がいて、その方に科学指導員がお知らせしているのですが、各学校のコーディネーターさんへの周知が遅くなったことから、結果として申し込みが間に合わなかったという報告でした。放課後子ども教室のやり取りは科学指導員が窓口となっており、状況までは把握しておらず申し訳ございません。</p>
進藤委員	<p>おそらく直接ではなく、間で調整された上で受けられているのではないかと印象を持ちました。学校ごとに申し込むという形ではないのではないかと。</p>
長田委員	<p>放課後子ども教室は学校とは別組織ですので、学校によって運営も違います。委託先が地域、民間、NPOなどもあります。コロナで外部に対して抵抗があった時期もありますので、これからゼロスタートということで、宣伝すれば増えると思います。</p>
事務局	<p>こども科学館はアウトリーチを積極的に進めることを考えておりますので、来年に向けて把握をしておきます。</p>

	<p>進藤委員 2点目は、アウトリーチと似たような話で先ほど部活動の話がありましたが、高校では探究活動などは大学と直接提携することが多いと思います。中学校の部活動の場合はその希望を全部科学館が引き受けるとなるとパンクすると思うので、科学館がハブとなって、例えば大学などと繋ぐといった形のあり方、そういう方向も検討されてもいいかと思います。</p> <p>事務局 大学とといいますと、もう少し専門的な分野でということでしょうか。こども科学館でできることはやりますが、科学部・理科部に入るような生徒さん、幅広く科学に対する興味がある子どもたちに、大学連携の方向もあわせて検討できればと思います。</p> <p>進藤委員 特に中学校はどこに行けばつながれるかという情報があまりない先生も多いかと思いますので。</p> <p>3点目は、科学館と郷土資料館のどちらもですが、毎年同じような話をどなたかがされていますが、目標の設定の仕方が適切ではないように思います。</p> <p>昨年度がものすごく売れたから今年度下がった、というのは達成できなかったからどうなのかという評価が非常に難しい気がします。</p> <p>特に、科学館の満足度で、目標値91%としてしまうと、これはもう評価5（目標値の+10%以上）をつけるのは不可能だと思います。郷土資料館が80%を目標値としているように、絶対的な指標で立てるべきところはそうした方がいいと思います。</p> <p>事務局 おっしゃる通り、満足度は過去の平均というよりも絶対的な数値の目標の方がふさわしいので、検討して次回は反映させていただきたいと思います。</p> <p>事務局 郷土資料館としましても、ご指摘ごもっともだと思います。行政では、構造的に単年度会計という仕組みで前年度と比較しやすいという面があり、そういう形をとっています。また、令和4年度くらいまで新型コロナの影響がかなりあるという記録があり、直近のものと比較するのがわかりやすいというところで、そういう評価になってしまいました。絶対的な目標値や、長期的なものも視野に入れた形での目標設定を検討していきたいと思います。</p> <p>進藤委員 最後に意見ですが、昨年度から科学コンクールでこども科学館館長賞ができたと思うのですが、それに関する記載がなかったようですが。</p>
--	---

	<p>事務局 中学校の科学コンクールというのをやっておりまして、子どもたちの発表のリハーサル練習やポスター貼りなど、学校教育との連携を積極的にやっています。入賞者にはこども科学館の無料入館鑑賞券をお渡ししていたのですが、昨年度からは審査員として参加させてもらい、おっしゃる通り、こども科学館館長賞を設定しています。今回書いていなくてすみません、ありがとうございます。</p> <p>鎌倉会長 他にはいかがでしょうか。</p> <p>深沢委員 私も目標値のことを質問しようと思いましたが、答えていただきました。ただ科学館と博物館で目標値の設定の仕方がバラついているので、役所内でも違和感があるのではないかという印象を持ちました。</p> <p>あと2点ありまして、1つはプラネタリウムについて。生解説プラネタリウムが1日平均98.3人という非常にいい数値がでています。新番組のドラえもんの場合も平均93.4人ということで、単純に比べてもいい数字だと思います。生解説プラネタリウムは番組を作るのが大変だと思うので、3回ずつしかやっていないのはもったいないという印象を持ちました。</p> <p>ただ、日曜日設定でお客さんがもともと入る日程だからこの人数であって、平日だとどうなのかということもあるかもしれませんが、投影回数を増やしたほうがよいのではという感想です。いろいろ分析されて3日間としたのであれば、もちろんそれでかまいません。</p> <p>もう1つは、こども科学館の京王線車内のPR動画について。予算措置を必要とする仕事なのか、どのように実施されたのか、お答えをお願いします。</p> <p>事務局 プラネタリウム投影で「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型」の1日平均が93.4人というのは、平日も実施しており、少ない人数の日も含めて平均を出しているものです。</p> <p>全編生解説番組プラネタリウム「銀河」は、解説員が50分間話し続けるということと、例えば1ヶ月のうち第4日曜日にのみ特別に実施するというプレミアム感を出したいということから、投影回数を少なくしています。また、年間4回テーマを変えて実施しているので、次の番組への期待感からリピーターを増やすということからも、この方針で実施を決めております。</p> <p>京王線の車内PR動画については、京王電鉄の方から投</p>
--	--

	<p>げかけがありました。これは、夏休みに親子で出かけるという構想があり、多摩沿線におでかけ拠点がいくつかあるため、子どもの乗車賃実質無料イベントという内容の企画でした。</p>
深澤委員	<p>プラネタリウムの方に関しては、説明はよくわかりましたが、番組を作るのは大変だと思うので、3回で終わっていいのかな、という印象です。以上です。</p>
鎌倉会長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
大森委員	<p>こども科学館の友の会の検討をされているという話があったと思うのですが、どういうことをお考えなのでしょうか。</p>
事務局	<p>以前はそういう考えもあったのですが、正規職員になかなか学芸員がいないうちでは困難ということもあって。今後、専門職の方が部活動の1つとしてできるような、そういう会ができればと思っています。</p>
大森委員	<p>具体化している話なのですか。</p>
事務局	<p>去年そんな話があって、それ以降は進んでいないのですが、こども科学館としては話があればできるという認識です。</p>
大森委員	<p>組織としては非常に有効活用ができるものと思っています。単独なものではなく幅広くひろげていける可能性のあるものというイメージとしてはあるわけですね。どういう風に取り組んでいくのかということ、ぜひ積極的に推し進めていただけるといいのかなと感じました。</p>
	<p>それから、郷土資料館の資料オンライン公開について。154件を新規公開されたということで、これから徐々に増やして目標1500点というお話がありましたが、公開していく順番といたしますか、基準は何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>基準を設けないといけないというのは正直あるのですが、ちょうど今、新しい歴史・郷土ミュージアムの準備の関連で収蔵資料として写真撮影していて、それをうまく使うように学芸員にお任せしているところです。公開にあたってはなるべく特徴的な、八王子の魅力が伝わるようなものをテーマに選択をするようにしています。</p>
大森委員	<p>お忙しい中で新しい方向性も含めてのことですから、取捨選択は大変なことでお手数のかかるところだと思います。視覚に訴えるものは効果があると聞きます。絵図や、何か状況がわかるようなものというのは、比較的素人でも飛びつけるような部分があると同時に、掘り下げがきくも</p>

	<p>のが多いのではと思います。他のところでも、絵図に対するアプローチが多いと聞いておりますので、選ぶのは必要とは思いますが、私自身もオンラインで公開されているものを最近よく利用していますので、ぜひこれは少しずつでも進めていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をありがとうございます。私どもの方も積極的に対応させていただきたいと思っております。また、数の目標は一応ありますので、可能な範囲で進めていきたいと考えております。</p>
大森委員	<p>関連して、絵図や古文書などの資料は、拡大してもそれなりに耐える画像があるのが理想的だと思うのですが、そのあたりは現状どのようなになっていますか。</p>
事務局	<p>やはり絵図や明治大正時代のチラシ、ポスター類などはデザインで目を引くものなので、ここ1年は充実させております。特に絵図は、委託で高解像度の撮影をしてそのまま載せています。スマホでダウンロードすると通信料がもったいなくて申し訳ないのですが、京王線沿線の絵図などは、裏面の解説の文字まで読めるようなかなり魅力あるものなので、十分皆さんの調査研究にお役に立てるようなものだと思います。</p>
鎌倉会長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
馬場委員	<p>こども科学館の入館者数は、館へ来る人と、出前講座の人も含めてですか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。</p>
馬場委員	<p>評価方法についてですが、これは決まったものなのですか。こども科学館と郷土資料館、それぞれ平均値をとったり諸々のことで評価したりしていますが、一番上の基本的な評価というのは変えることはできないのですか。</p>
事務局	<p>変えることはできます。前年度との比較での目標値、評価点については変えると比較ができなくなりますが、時代や内容も変わってきていますので、見直すべきところは見直さないといけないと思います。おそらく昔から同じような評価方法で、変わっていないと思いますので。</p>
馬場委員	<p>つまり、経年変化はわかりますよね。ただ、マンネリ化しているのではないかと。昨日たまたま他の博物館の協議会があったのですが、その5月の協議会ではどのような項目を評価するかを出して、設定値を議論し決めて、最終的に翌年3月に私たち委員が評価するという方法でやっています。こちらでは内部評価ですよ。そこのところが気に</p>

	<p>なったということなのですが、変えることはできるわけですよ。</p>
事務局	<p>変えることはできます。こちらの施設評価では、内部評価をさせていただいて、委員の皆様に対してのご意見をいただき運営に生かしていくというものになります。</p>
馬場委員	<p>それはそれでわかりました。あと、前にも質問したことですが、この数値的な評価の中の7番「教育普及事業」の最後のところが、こども科学館は「市内小中学校、幼稚園、保育園等の連携」、郷土資料館は「学校連携事業」とあって、博学連携というのは今博物館が求められている内容なのですが、科学館のバスの予算が削減されて人数が1134人減ったと。それだけの人が来れなかったということですよ。これはどうやってフォローしているのでしょうか。要するに、小中学校は義務教育で、こういう機会がこども科学館の事情によって受けられない子どもがいるのではないかと思った次第です。</p>
事務局	<p>それと郷土資料館の方は、学校見学が小学校46校、中学校21校と、市内全校の半分くらいしか来ていない。全体的に見て、博学連携的なものはガクッと落ちてますが、その辺りはどのように説明されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>郷土資料館の方は、学校側へは社会科見学として受け入れるというご案内をしています。魅力的なものを展開するよう心掛けてはいますが、最終的に社会科見学にどこを選ぶかというのは学校側の判断となりますので、すべての学校に必ず選んでいただくとはならないのが正直なところで。引き続き学校教育部とは密に連携していく必要がありますので、選ばれるように内容を充実させる努力をしています。</p>
事務局	<p>こども科学館は、バスの予算については毎回お話しいただきますが、小学校4年生はコロナ前から継続しており、大体9割くらい(70校のうち63校)は来ていただいています。郷土資料館と同じ状況で、理科の授業の1つとして有効と判断していただければ来るというような状況です。</p>
事務局	<p>学習指導要領でもプラネタリウムを活用することは有効という書き方をしているので、多くの学校に来ていただいていたのですが、コロナ前はほぼ全校だったのが、まだ1割の学校はコロナ前に戻っていないという状況です。</p>
馬場委員	<p>バス代の予算はこども科学館がつけているのですよね。</p>
事務局	<p>そうです。4年生だけは確保しています。コロナ前は小</p>

	<p>学校6年生と中学校3年生の予算も確保していたのですが、コロナ明けで市の財政状況が厳しいという中で4年生だけとなりました。学校の方でも予算が取れなくて、近隣の学校は徒歩で来ていただいたりしています。</p> <p>馬場委員 4年生については、予算上の問題で来られないということはないのですね。わかりました。</p> <p>あと、郷土資料館の評価で12番の人材育成について。研修は積極的に行かせなければならないというふうに博物館法も変わったと思うのですが、2月14日にイノベーションミュージアム事業をやった時に、学芸員さんが来ていなかったように見えたのですが。</p> <p>事務局 学芸員も参加しております。スタッフの方で運営を手伝ってもらっていましたが、講演の際は聞いていただいています。有給を取って来ている人もいました。</p> <p>馬場委員 その日は富士美術館の人や図書館の人など、幅広く来ていました。博物館に求められるものは非常に広がっているので、より積極的に研修を受けるようにしていただければと思います。</p> <p>鎌倉会長 ありがとうございます。</p> <p>施設評価の数値は毎年意見が出ているところですので、ご検討いただければと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>【議題】 (2) その他</p> <p>鎌倉会長 それでは、議題(2)、事務局よりお願いします。</p> <p>事務局 1点報告させていただきます。昨年度、こども科学館のあり方検討会を実施していると説明させていただきましたが、ここで、アンケート調査を実施するという報告です。</p> <p>対象者は、義務教育学校含む市立小学校全70校の5年生とその保護者、市立中学校全38校の2年生とその保護者、八王子市SNS(LINEやX、フェイスブック)に登録していただいている一般の方。以上3つの対象者の方にアンケート調査を行い、今後、あり方検討会に有効活用させていただきます。</p> <p>(ほかに企画展等の案内あり)</p>
--	--

	<p>鎌倉会長 何かご質問、ご発言はありますでしょうか。 なければ、皆様にお知らせがございました。</p> <p>平成28年から委員をお勤めいただいた國方委員、大畑委員、菊池委員が本日の会議で退任されます。國方委員、菊池委員にはご挨拶の言葉を承っております。</p> <p>(挨拶文読み上げ)</p> <p>最後に、私も任期満了のため、今日で退任となります。2016年度から9年間、委員を務めさせていただきました。委員の皆さんのそれぞれの立場から有益なご発言がありまして、本当に助けられました。感謝申し上げます。</p> <p>ここで皆さんがいろいろ新しい事業や地域で頑張られている様子を耳にして、本当に素晴らしいと思っていますが、先日、富士宮市が、博物館の建設反対ということで市民団体から署名が出されたということがありました。箱物ととらえられてしまうという残念な気持ちと、まだまだ来館したことがない、活動を知らないという人も非常に多いと思うので、市民生活にとって非常に意義がある場所だということをもっと発信していただきたいと思いますし、私もいろいろな形で支援していければと思います。いち利用者としても、積極的に利用していきたいと思っております。皆様ありがとうございました。</p> <p>以上で、令和7年度第1回八王子市博物館協議会は終了いたします。</p> <p>事務局 次回は新しい委員の方をお迎えして、11月上旬を予定しています。8月末ごろに日程調整をさせていただきますのでよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>【閉会】</p>
--	--